



▲端末を片手に入居者と会話を交わすスタッフ。即座に記録の入力が可能となった。

# PC使わず電子記録 安価な端末多数導入 障害者が入力を支援

## 社会福祉法人大地の会



ホーム代表  
横山 雅弥 副施設長

社会福祉法人大地の会(相模原市)の特養塩田ホーム(同)は、外国人や高齢者のスタッフが多い。介護記録システムの導入を進める際、そのようなスタッフに配慮し端末の選定や業務の見直しを実施。費用や労力を抑えつつ記録システムの定着に成功した。

1名は70代で30年以上務めるベテランだ。施設では2年ほど前より記録システムを使用していたが、外国人スタッフがキーボード入力に不慣れだった。高齢のスタッフが多くPC操作に不安があったりすると、といった点が課題だった。そのため1年ほど前、記録ソフトの切り替えに際して端末の整備、業務見直しなどを行った。

同ホームは定員100名で、従来型51床、ユニット型49床の施設。技能実習生の積極的な受け入れ、職員が長く働ける職場にするために時間や業務を限定して働くことができ、記録の導入など、人材の確保、定着に力を入れている。現在、ベトナムからの技能実習生4名を受け入れている。また、長く働き続けられる環境を整えた結果、65歳以上のスタッフが10名、その中の

「介護ビジネスの未来を創る」  
**週刊高齢者住宅新聞**  
Elderly Press Newspaper

2022年(令和4年)  
**2月16日**  
第660号 (毎週水曜日発行)

(株)高齢者住宅新聞社  
〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15  
☎03-3543-6852(編集部)  
発行人 網谷敏敷  
年間購読料 23,100円(送料込・税込)

ホームページ  
<https://koureisha-jutaku.com>

TOPICS	
ニュース・総合	2面
IT活用で現場の負担軽減	
介護BIZ	3~11面
自社製アプリで業務効率化 「働く女性」顧客は「動く女性」 50施設で訪問理美容	
医療	12面
個人に依存する地域医療の実態	
行政・ネットワーク	13面
認知症サポート医、地域活動推進	
商材・サービス	14・15面
見守りシステムに通話・カメラ機能	
関西	17・18面
障害者支援eラーニング刷新	
地方都市	19面
鹿児島市 死後の手続き一括支援	
ヘルスケアフォーカス	20面
サ高住で介護事業強化	

CT化を担当する横山雅弥副施設長は「『記録する』という目的で考えれば必要十分でした。機能がシンプルで操作が覚えやすく、不具合の発生も抑えられます」と語る。

安価な端末を選定した分、導入台数を増やした。現在、施設全体で24台導入。1ユニットに2台は行き渡って業務に1〜2分ほどの隙間時間に記録ができるようになった。職員が負担に感じていた、「作業を一度切り上げてPC前に移動し、記録を入力する」ということや、「PCの順番待ち」がなくなった。

就労移行支援でデータ入力依頼

昨年4月から、科学的介護情報システム「LIFE」の運用が開始されたことから、施設でもその対応が行われた。そこで課題となったのが、病歴、服薬情報などの利用者の基本情報の入力負担だ。スタッフには通常



▲施設で実施されたファッションショーの様子。業務で効率化した時間をイベントなどの充実に充てる。

業務に加えて、これらを入力する手間が必要となった。

横山副施設長は「現在、コロナ禍で、障害者の就労移行支援のインターンの受け入れが滞っており、『働きたくても職場体験ができない』人が多いことを聞かされた。

「一般的には軽作業が多い。ここではPC作業をお願いするのでも、より実際の仕事に活かせる体験ができれば、(横山副施設長)」。施設では従来より、ベッドのシーツ交換を1床当たり200円で依頼するという例があった。

**2月16日以降の主な動き**

**2月16日(水)**  
○高齢者住まい事業者団体連合会「ICT導入支援セミナー」  
※オンライン開催  
※26日再放送

○南日本情報処理センター「介護現場のICT化を難しく考えていませんか?~既存介護ソフトの活用から始める介護現場のICT化~」  
※オンライン開催

**2月17日(木)**  
○Donuts「2022年度 診療報酬改定

(診療所・クリニック向け) オンラインセミナー」  
※オンライン開催

**2月18日(金)**  
○東京都福祉保健局「東京ホームタウン大学2022 東京で生きる。このまちでつくる未来」  
※オンライン開催  
※19日も開催

**2月19日(土)**  
○シルバーウッド「介護の生理学研究会」  
※オンライン開催

た。現在は、「LIFE Eへの提出データ入力」という重要な役割を担うこともあり、インターンの意欲は高く、施設での就職が決まった例もある。また、職員にとって障害者の受け入れが、「作業手順の再確認」の機会になり、教育につながっている。

これらの取り組みで効率化した時間を、ケアの質向上に加えて、外国人スタッフとの文化交流などの時間に充てる方針だ。これまでは、世界アルツハイマーデーのイベントの一環で、技能実習生が主役のファッションショーを開催した。これらのイベントの様子を母国に伝えることで信頼を得ることができ、さらなる技能実習生の受け入れにつながっていく。

「介」  
ナポリタンは昭和レトロな喫茶店の定番メニューだ。ポイントとは茹で置きたスパゲティとケチャップを使うことについて、89%が「容認できない」「鉄道員(ぼっぼや)」などで知られる小説家、浅田次郎によると、2021年の外国人労働者で眠っていたようなアヨブのスパゲティが好ましい。その221人だった。介を少女の玉葱とウインナーソーゼルの層彼らの活躍に期待が寄せられている。薄っぺらな輪切りと、真赤なトマトケチャップで炒めるのが正統だそう。このナポリタン、歩み寄れるか、今後の課題だ。

「介」  
イタリア人にはここを評判が悪い。英世論調査会社による、特にスパゲティにケチャップを使うことについて、89%が「容認できない」が「結果だ。▽厚生労働省の1月末の発表によると、2021年の外国人労働者数は前年比プラス0.2%の172万7千人だった。介護分野では今後、一層彼らの活躍に期待が寄せられている。文化の違いを尊重しつつ、いかに互いに歩み寄れるか、今後の課題だ。